最新塗料・ラプターライナー全塗装のタフ&ワイルドなストリートクルーザー!!

●ベース車／ハイゼットトラック・ジャンボ（右）、ハイゼット・カーゴ（左）
●協力／シーザー　☎0833-45-0321　www.caesar.ne.jp

PHOTO／塩谷佳史

軽カー 4インチオーバーのリフトアップで魅せろ
アゲMAX選手権

サムライピック嵐
Raptor Liner Ver.
HIJET JUMBO

ワイルドなロールバーや屈強な面持ちのバンパーを携え、極め付けに怪しげな全身ブラックのオールペンが施されたこのマシン。ベースは軽トラの代表格であるハイゼットジャンボというから、初見の人は驚きを隠せないだろう。農道を駆け回っているイメージが強い軽トラを、もっとカッコよく、若い人が気軽に楽しめるクルマにと製作されたのが、山口県のシーザーが提案する「サムライピック嵐ラプターライナーver.」だ！

ボディパーツの変更はもちろんだが、特にクルマのイメージを左右しているのは、全塗装に用いた「ラプターライナー」という最新のチッピング塗料。ペイントによって、ゴツゴツ感がある塗装面を表現でき、この軽トラらしからぬタフ&ワイルドな姿を体現できたというワケだ。さらに、「気軽に軽トラを楽しむ」というコンセプトを実現するため、DIY塗装も可能な塗料を用いている点も見逃せない！　ボディの主要部分はスプレーガンで塗装しているが、曲面が塗りにくいロールバーやバンパーガードは大部分を市販のローラーでペイントしており、設備が整っていない環境でもカスタムを楽しめるというワケ。初見だと「なにこれ!?」と多くの疑問符が浮かぶ塗装面の表現だが、実はとてもシンプルな手法で軽トラのイメチェンに成功しているのだ。

加えて、同社のサムライピックブランドのフロントバンパーやロールバーなどで4駆イメージを与え、ハイゼットジャンボらしからぬカッコよさを引き出したボディメイクも特筆モノだ。

ラプターライナー塗装を筆頭としたボディモディファイで、軽トラの野暮ったいイメージを払拭してみせたシーザー。同社が提案する要注目の最新塗料から目が離せない！

ハイゼットジャンボはラプターライナーでオールペン。フォグカバーやミラー、ドアハンドルはアクセントであえて未塗装としている。ハイゼットカーゴは荷台部分を塗装し、ラック装着で、積んで遊べる仕様に変身。

足元にはエクストリームJXJ04（14×4.5J）で、マットブロンズのディスクが高級感を放つ。ビードロック風ブラックリムの採用で、ボディ色との調和を図った。合わせたタイヤはマキシスのM/T-754。

ワイルドさ満点のハイラックスルック

グリルレー体型のフロントバンパーは、現行ハイラックスのTRDバンパー形状を落とし込んだSAMURAI PICKシリーズ。全体をラプターライナーで塗装しており、ボトム部はレッド塗料を混ぜたティンタブルタイプで塗り分けている。ラプターライナーをまとったバンパーガードや鏡面仕上げのスキッドガードも同ブランドで統一。バンパー形状のスポーティさに、ラプターライナーがワイルドなイメージをプラスし、いい意味で軽トラらしからぬ姿だ。

リフトアップで遊べる仕様に！

4インチリフトアップキットの嵐をインストールし、街乗りはもちろん海や山へ出かけても楽しめるアシに。Fショックアブソーバーやリアブロックなどの各種パーツが、堅牢な足回りを実現する。キャンバーやプロペラシャフトの角度補正など、機能面への考慮も十分。リーフスプリング、ショックアブソーバー、ガソリンタンクなど、アンダーキャリッジもラプターライナーで武装済み！

リアビューも徹底したラプターライナー塗装で魅せる。荷台に設置したダブルチューブロールバーもSAMURAI PICKブランドの逸品で、BOSSのマリンスポーツ用防水スピーカーやLEDライトバーを装着。ガリ傷を気にせず、週末はアウトドアに遊びに出かけたくなるエンタメ要素満点な仕上がりなのだ。

お手軽ペイントでカスタムを楽しみ尽くす!!

RAPTOR LINERってなんだ!?

最新塗料

ラプター・ジャパンとして、シーザーが正規代理店を務めているラプターライナー。キズ付きに強い結晶塗装のような塗装面が特徴だ。仕事車はもちろん、街乗りグルマのドレスアップにも最適。DIY塗装も行えるので、カスタムの幅を広げてくれる最新アイテムだ。カラー塗料を混ぜて自由なカラーリングを楽しめるティンタブルタイプもあるぞ。(ラプターライナー1ℓボトルキット／9800円、ラプターライナー・ティンタブル1ℓボトルキット／1万2800円)

ラプターライナー

塗装方法は2パターン

スプレーガン

ローラー

ラプターライナーはスプレーガンかローラーで塗装するため、特別な設備がなくてもDIYを楽しめる。ハイゼットジャンボは、計13本のラプターライナーを用いてオールペンし、バンパーのみなら1本、荷台部分なら4本使用とコストパフォーマンスも抜群なのだ。

ラプターライナー施工店一覧

ラプターライナーの施工は全国のショップでも行ってもらえる。詳細は右のQRコードから確認してね！

用途に応じた塗装方法で理想のマシンへレベルアップ

全身にラプターライナーをまとったハイゼットジャンボは、ボディと荷台で塗装の目の荒さを変えている。ボディはきめ細かく塗装し、街乗りにも合うように品をもたせた。荷台部分は荷物をがっつり積んでもキズがつかないように、粒子を粗めに調整して塗装している。